

# 令和7年度 一宮市立奥中学校 教育目標

2025. 4. 1

## 1 教育目標

### (1) 本校の教育目標

知・徳・体の調和のとれた未来を拓く「地道徹底・自立貢献」ができる生徒を育成する

◎校訓くめざす生徒像> 『笑顔いっぱい・元気いっぱい』

『「学びあい・認めあい・輝きあい」(三あい)ができる生徒』

- ・学びあい：課題の発見・解決に向けて主体的、対話的、協動的に学ぶ生徒
- ・認めあい：お互いの良さを認めあい、仲間を大切にし、感謝する心を持つ生徒
- ・輝きあい：一人一人が高い自尊心を持ち、失敗を恐れずチャレンジし、笑顔と元気に満ちあふれる生徒

◎くめざす学校像>

- ・生徒 ~ 学びたい学校
- ・保護者 ~ 学ばせたい学校
- ・教職員 ~ 勤めたい学校

◎くめざす教職員像>

- ・学び続ける教職員
- ・協働し合う教職員

### (2) 経営方針『生徒や教師一人ひとりの Wellbeing (ウェルビーイング = 幸せ) を大切にする学校づくり』

#### ア 確かな学力の育成

- ・現職教育の充実を図り「わかる・楽しい授業」と実感できる指導方法の工夫に努め、学力の向上を図る。
- ・基礎的な知識・技能の定着と、学習ルールやマナーの向上を図る。
- ・自分の考えを伝え合う・話し合う等の言語活動を通して、思考力・判断力・表現力、及び読解力の向上を図る。
- ・自己の考えを広げ深める「主体的・対話的で深い学び」をめざした授業改善を図り、探求的な学習等の実践を進める。
- ・ICT 機器の活用を推進するとともに、個別最適な学習と協動的な学びの充実を図る。
- ・キャリア教育の充実を図り、自分らしい生き方を選択・実現する力を育み、夢や目標の実現に向けた生きる力を身につけさせる。

#### イ 豊かな心の育成

- ・様々な多様性を尊重し、自他ともに大切にする態度を育成し、よりよい人間関係の構築と居心地よい集団づくりに努め、共感的な人間関係を育成する。
- ・発想力やコミュニケーション力を高め、自他の思いや考えを共有し、自己有用感や自己肯定感を育てる。
- ・Q-U 検査や生活アンケート、相談活動を通して生徒理解に努め、いじめの防止と不登校対策に取り組む。
- ・生徒の思いに耳を傾けながら、一人一人の気持ちに寄り添った指導に努める。
- ・「時を守り、場を清め、礼を正し」を具現化し、笑顔あふれる元気な心を育てる。
- ・「考えて・議論する」の道德教育の充実を図り、多面的に考え、判断し、自己の生き方やその基盤となる道徳的価値の自覚を深めさせ、適切に行動するための資質・能力を養う。
- ・読書活動や新聞活用を通して多角的・多面的に物事を考える力を高める。
- ・国際理解教育に関する様々な活動を推進するとともに、国際化・情報化社会への対応力を向上させる。
- ・SDGs (持続可能な開発目標) を踏まえ、環境保全に取り組む ESD (持続可能な開発のための教育) を推進し、豊かな環境とその恵みを大切にする心を育てる。

## ウ 健やかなからだの育成

- ・命と健康を守ることを基本として、日常生活や学校行事等における健康観察の充実を図る。
- ・事故・けが・病気の予防に努めるとともに、安全意識を高め、健康で安全な生活の充実を図る。
- ・系統性を重視した意図的・計画的な健康教育や食育、情報モラル教育及び体育活動を進め、望ましい生活習慣の定着と身体能力の育成を図る。

## エ 信頼される学校づくり

- ・率先垂範として教師自身も「地道徹底・自立貢献」に努める。
- ・「わかる・楽しい授業」を目指し、教師の授業力・指導力を高める。
- ・「聴く姿勢」を重んじ、カウンセリングマインドを高め、豊かな人間関係づくりに努める。
- ・学校公開、各種たよりの発行及び学校ホームページをさらに充実させ、発信力を高める。
- ・施設設備の安全管理や非常時の危機管理体制の整備に努め、安心・安全な学校づくりを推進する。
- ・小学校との連携を通して、情報の引き継ぎ・共有、学びのつなぎ、連続した支援等を進める。
- ・地域行事・ボランティア活動への参画を通して貢献の心を養う。

## (3) 本年度の重点目標

- ア 「地道徹底・自立貢献」をキーワードとして、基本的な生活習慣と豊かな人間関係づくりの基礎を図る。
- イ 「わかる、楽しい授業」をめざした授業改善に努め、全職員が積極的に研修や修養に努める。
- ウ 相互授業参観を積極的に行い、授業づくりや評価の在り方についての研究を進める。
- エ 「読み取る力」（リーディングスキル）を高める取り組みを実践し、正しく読む力を高める。
- オ 生徒に発表の機会を多く与え、互いの考えの良さを見つけ認めさせ、「聴く」「誉める」「認める」「自己決定」させながら、自己肯定感・自己存在感を高める。
- カ 課題解決の過程を重視した授業展開を心がけ自分の考えを持たせるとともに、他者の考えや意見との異同を受け止めさせ、自己決定の場を与える。
- キ 教え合い学習や協同・協働活動を設定し、他者の発表を傾聴させながら共感的な関係を育成する。
- ク 「報告・連絡・相談・確認」を徹底し、教職員間の情報共有を図り、早期発見・早期対応に努める。
- ケ 「聴く姿勢」と「寄り添う指導」を充実させ、規範意識を高め、秩序ある学校づくりに努める。
- コ 教師の接遇、気配り、目配りが行き届く潤いある学校づくりに努める。
- サ 教職員の業務効率化を推進し、物理的、精神的にゆとりをもって生徒と向き合い、持続可能な教育実践が進められるようにする。